

# 文教委員会請願説明資料

令和元年8月22日

件名	頁
(子ども家庭部)	
1 受理番号13	
児童・生徒の介助員登録者を増やす工夫・改善及び行事介助員 を探す際の保護者の負担軽減を求める請願・・・・・・・・・・	1

( 教育委員会 )

件名	受理番号13 児童・生徒の介助員登録者を増やす工夫・改善及び行事介助員を探す際の保護者の負担軽減を求める請願
所管部課名	こども支援センターげんき支援管理課
請願の要旨	<p>児童・生徒の介助員の内「行事介助員」について、在籍校・保護者で候補者を探し、学校から区に申請することが基本となっていますが、現実問題として保護者が候補者を探す事にはかなり困難を伴います。障がいがある子もない子も同じように安心して学校行事に参加できるよう取組んでいただけますことを切に希望し区に下記を要望します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介助員登録者が増えるような働きかけや工夫・改善を要望します。</li> <li>2. 行事介助員を探す際の保護者の負担軽減を要望します。</li> </ol>
請願者等	請願文書表のとおり
紹介議員名	長谷川 たかこ議員
内容及び経過	<p>1 介助員登録者が増えるような働きかけや工夫・改善</p> <p>(1) 介助員配置までの流れ (ア～ウ)</p> <p>ア 学校が保護者の同意を得て、こども支援センターげんき支援管理課に申請書を提出する。</p> <p>イ 介助員配置判定委員会 (定期) において審議する。</p> <p>ウ 承認された場合は、学校からの推薦または介助員登録名簿より適任者を学校に紹介することで、配置する。</p> <p>※行事介助員については、申請方法は同じだが、介助員配置判定委員会で申請の都度、審議し判断する。</p> <p>(2) 現在配置されている日常介助員数</p> <p>令和元年7月現在の配置数は94名。うち49名が介助員登録名簿から配置した介助員である。</p> <p>(3) 児童数で換算した日常介助員配置実績 (平成30年度)</p> <p>62件 (配置数) / 67件 (承認数) 配置率93%</p> <p>配置できなかった5件は、学校内で工夫して対応した。</p> <p>(4) 児童数で換算した行事介助員配置実績 (平成30年度)</p> <p>36件 (配置数) / 39件 (承認数) 配置率92%</p> <p>行事介助員のほかプール介助員を含む。</p>

	<p>配置できなかった3件は、学校内で工夫して対応した。</p> <p>(5) 介助員の募集方法（令和元年度7月現在）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 区ホームページ</li><li>・ あだち協働パートナーサイト（令和元年度より）</li><li>・ 大学への問い合わせ等の働きかけ</li></ul>
問題点等	